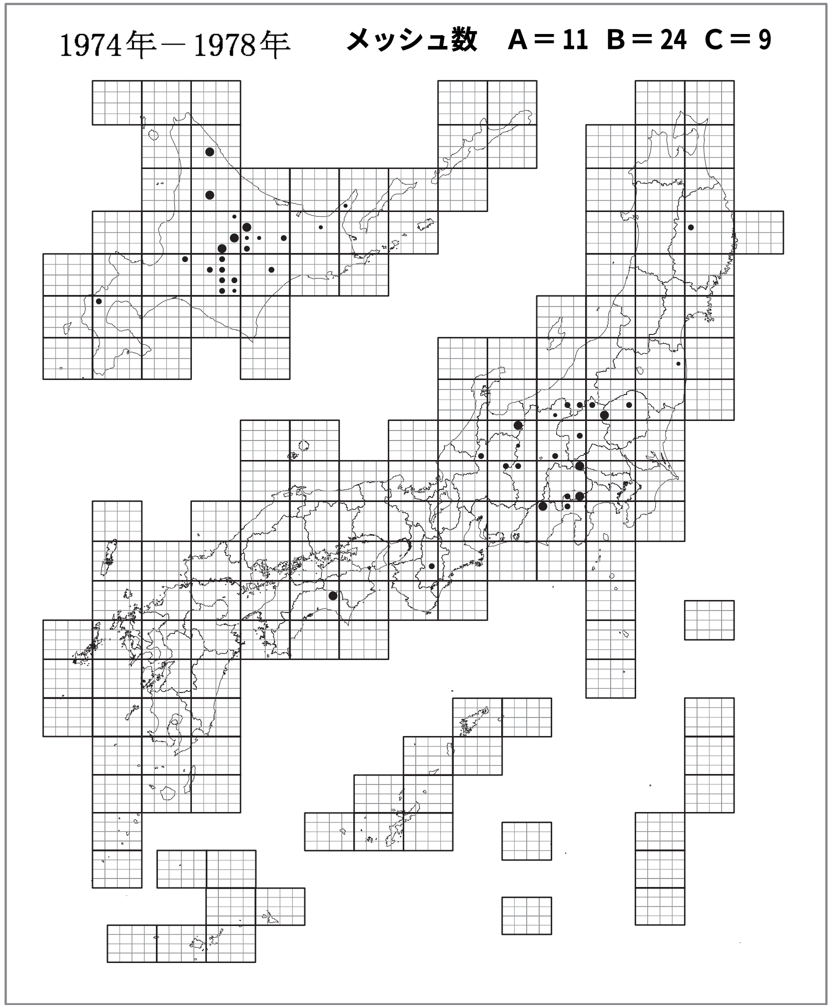
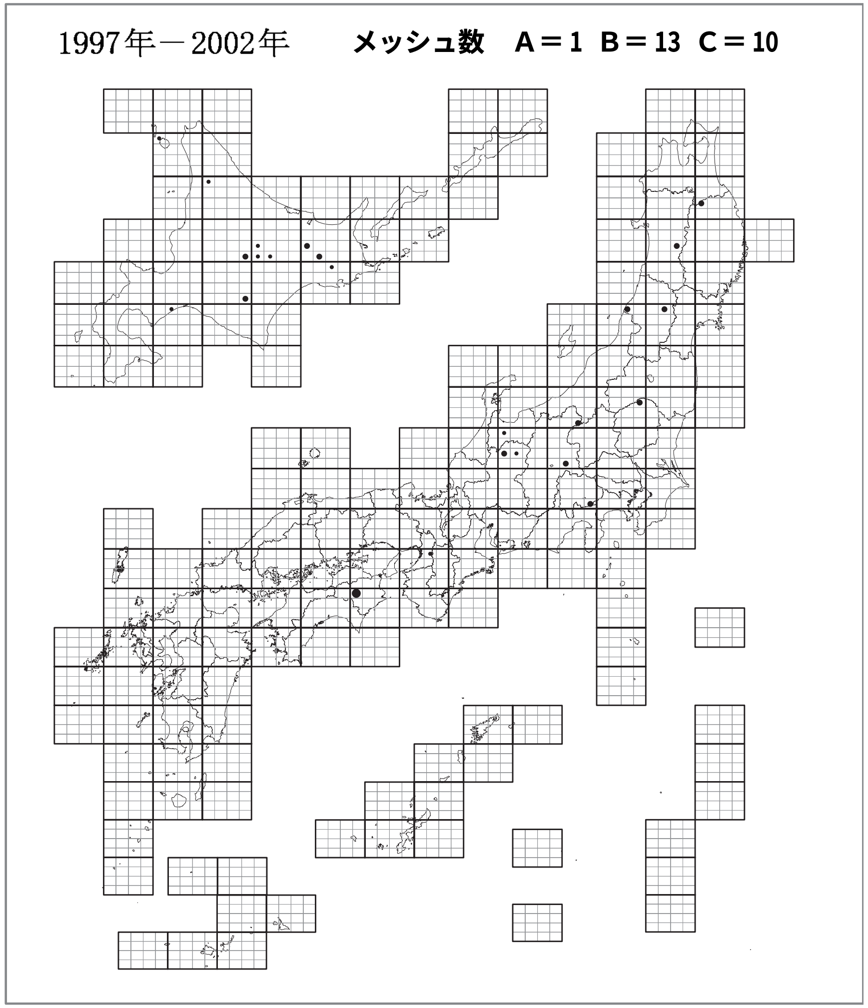
サメビタキ

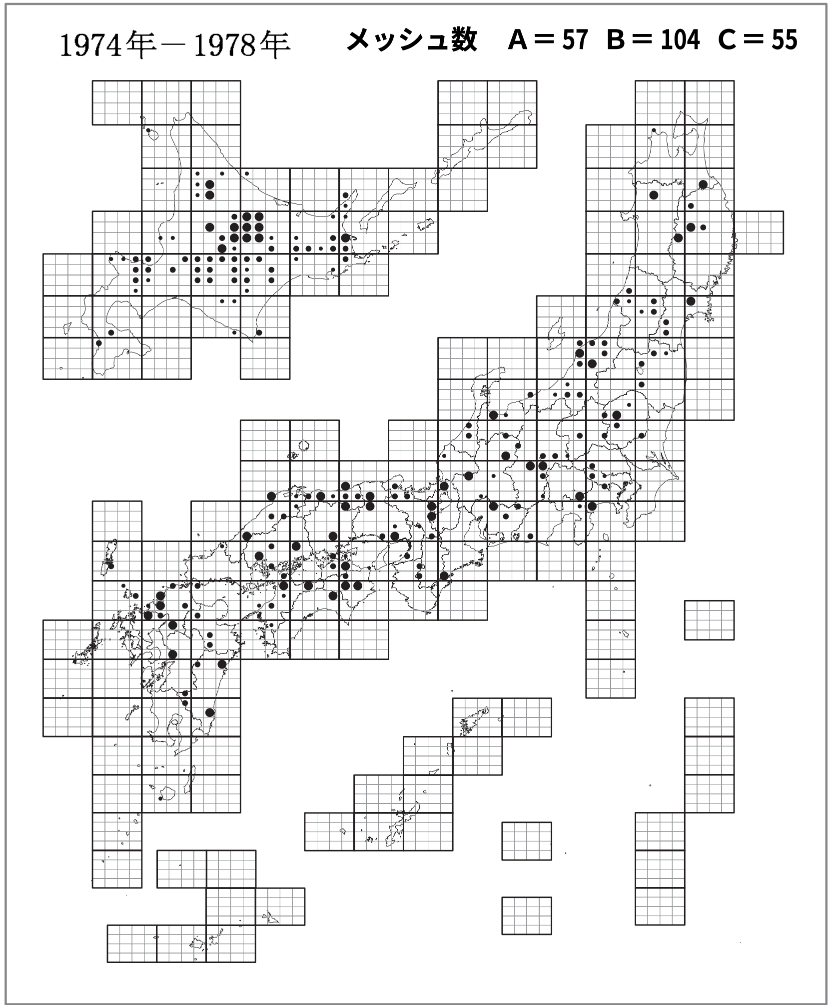
(分類) スズメ目ヒタキ科　*Muscicapa　sibirica*
(環境省RDB種)　－
(分布) 本州中部以北で夏鳥。東アジアやチベットなどで繁殖し、東南アジアやインド亜大陸北部で越冬する。
(生態) 亜高山帯の針広混交林に５月頃渡来し、針葉樹の樹上に営巣する。3～5卵を雌雄で抱卵、育雛する。9月から10月頃に渡去する際には小群がみられる。枝から飛びだし飛翔する昆虫を捕食しては枝に戻る。

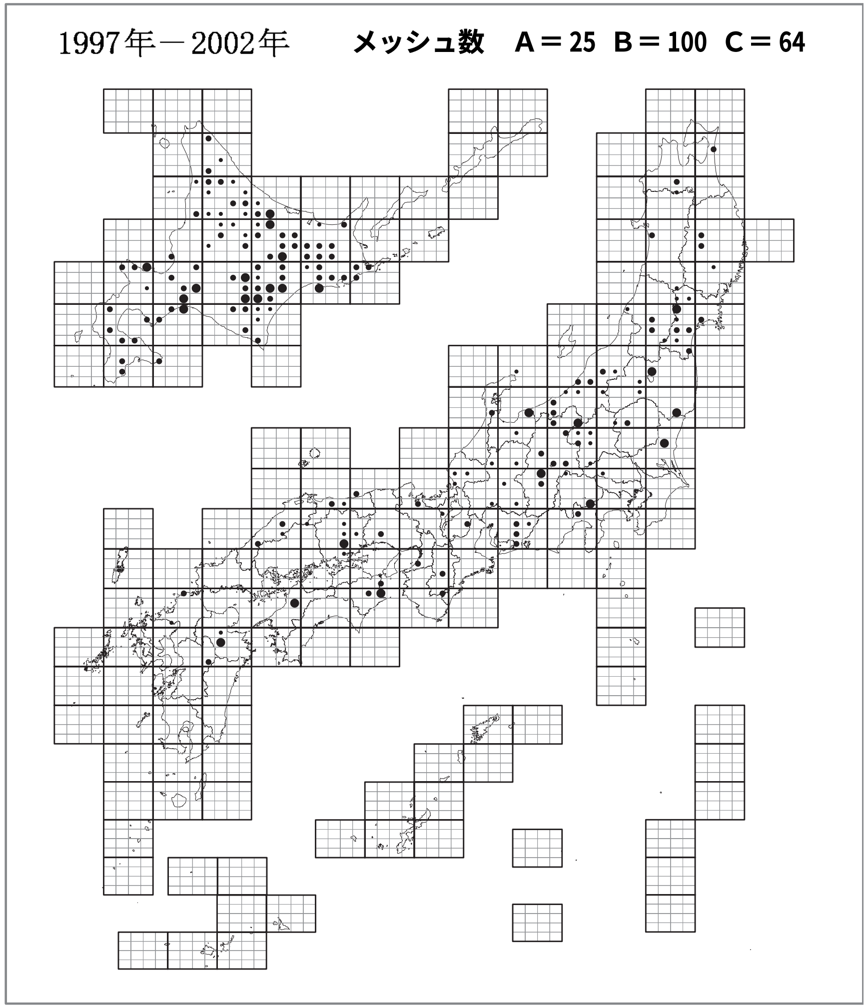




コサメビタキ

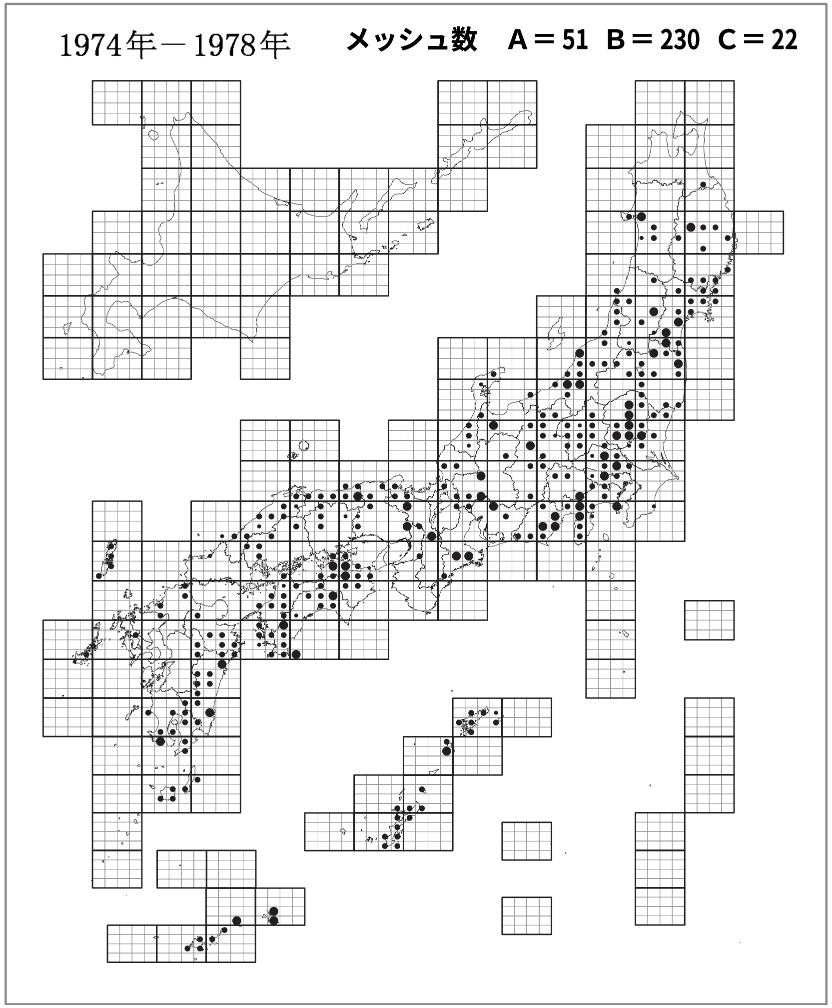
(分類) スズメ目ヒタキ科　*Muscicapa　dauurica*
(環境省RDB種)　－
(分布) 九州以北で夏鳥。アジア東部の中・緯度地域で繁殖し、東南～南アジアなどで越冬。
(生態) 4月頃に落葉広葉樹林に渡来し、樹木の枝上に営巣する。4～5卵を雌が13日前後抱卵し、13日前後で巣立つ。繁殖期以外は単独でみられることが多い。枝から飛びだし飛翔する昆虫を捕食しては枝に戻る。

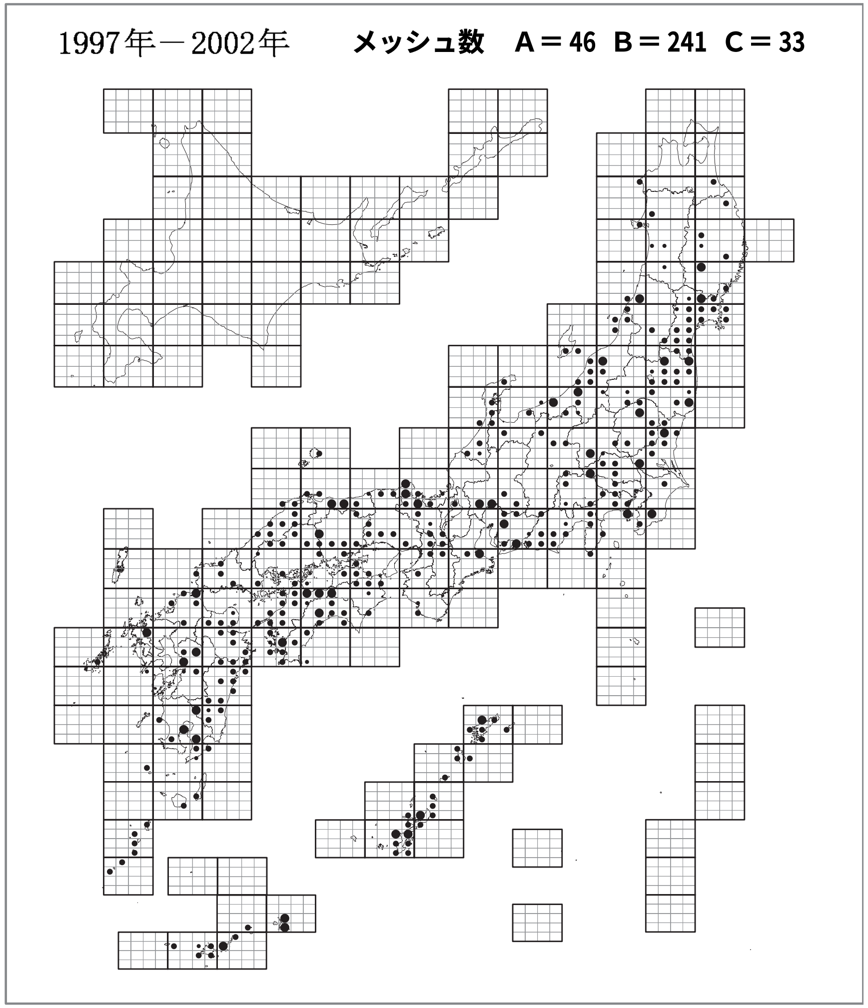




サンコウチョウ

(分類) スズメ目カササギヒタキ科　*Terpsiphone　atrocaudata*
(環境省RDB種)　－
(分布) 本州以南で夏鳥。南西諸島で留鳥（南西諸島産亜種リュウキュウサンコウチョウ）。インドシナなどで越冬。
(生態) 5月頃渡来し、薄暗く林内が開けた沢沿いの広葉樹や針葉樹上に営巣する。3～5卵を雌雄交代で13日前後抱卵し、11日前後で巣立つ。9月頃に渡去する。昆虫を空中で捕える。





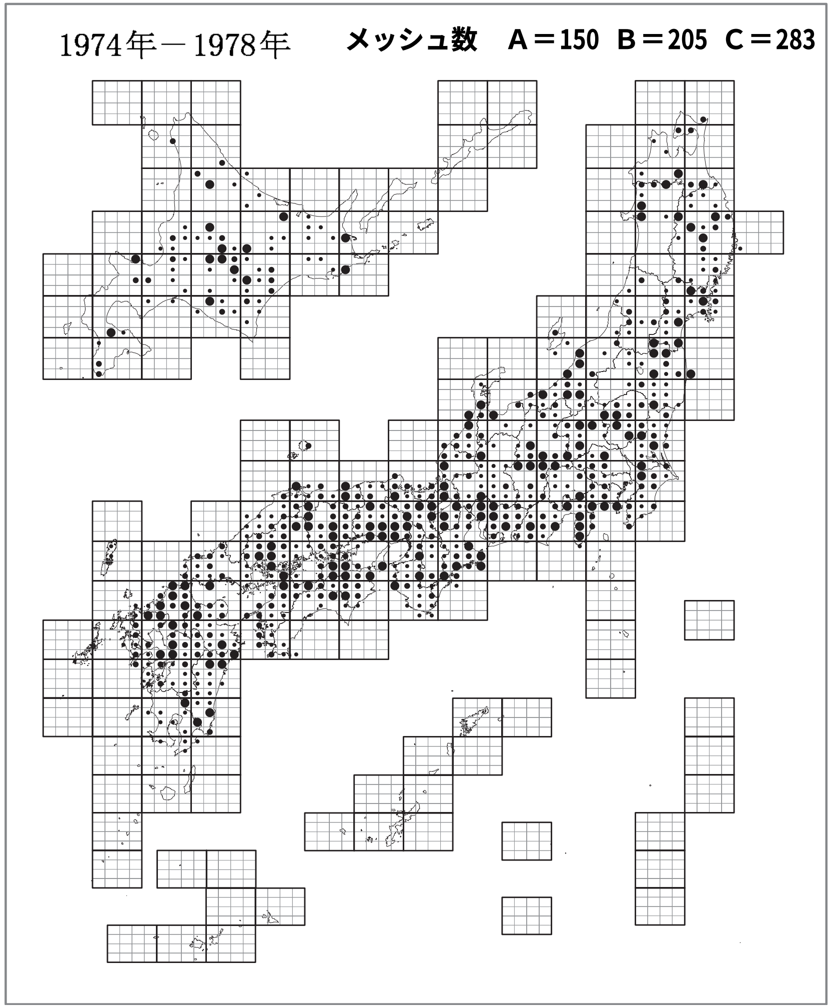
エナガ

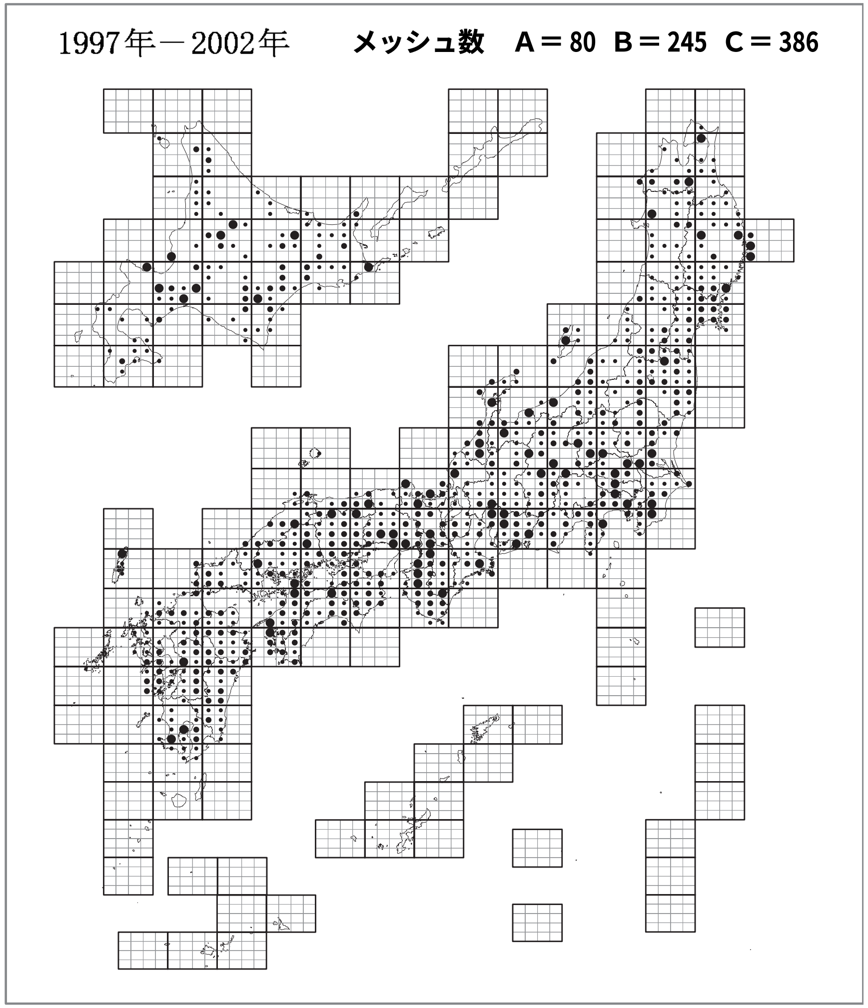
(分類) スズメ目エナガ科　*Aegithalos caudatus*

(環境省 RDB 種)　－

(分布) 九州以北で留鳥。ユーラシアの中・高緯度地域に広く分布。

(生態) 雑木林などの落葉広葉樹林にすみ、2～5月に繁殖する。7～12 卵を雌雄で 14 日前後抱卵し、16 日前後で巣立つ。昆虫やその卵、樹液、漿果など多様なものを食べる。冬は群れでねぐらをとる。





ハシブトガラ

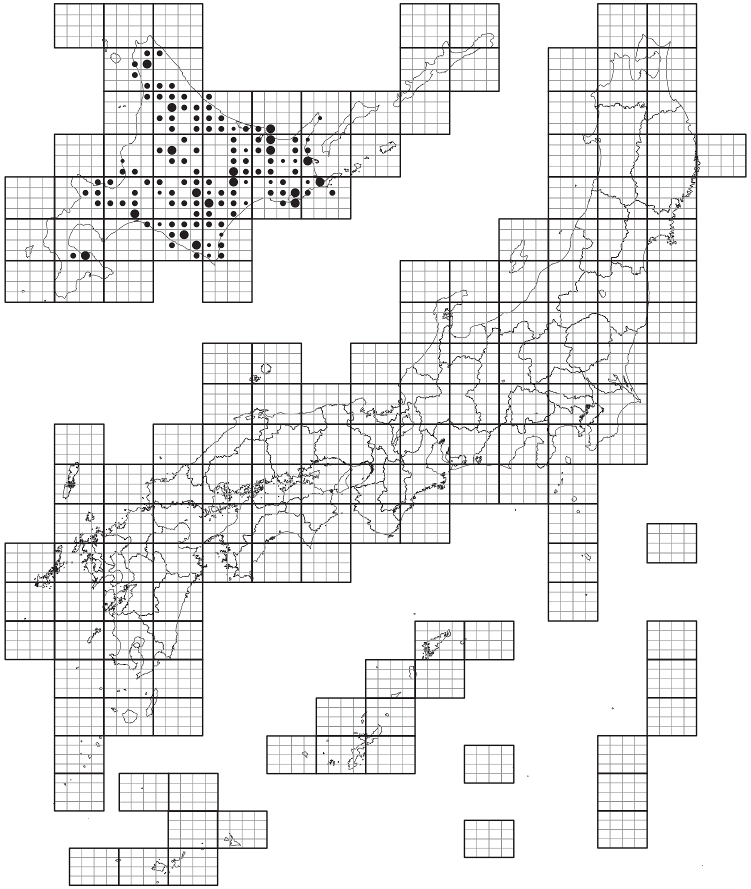
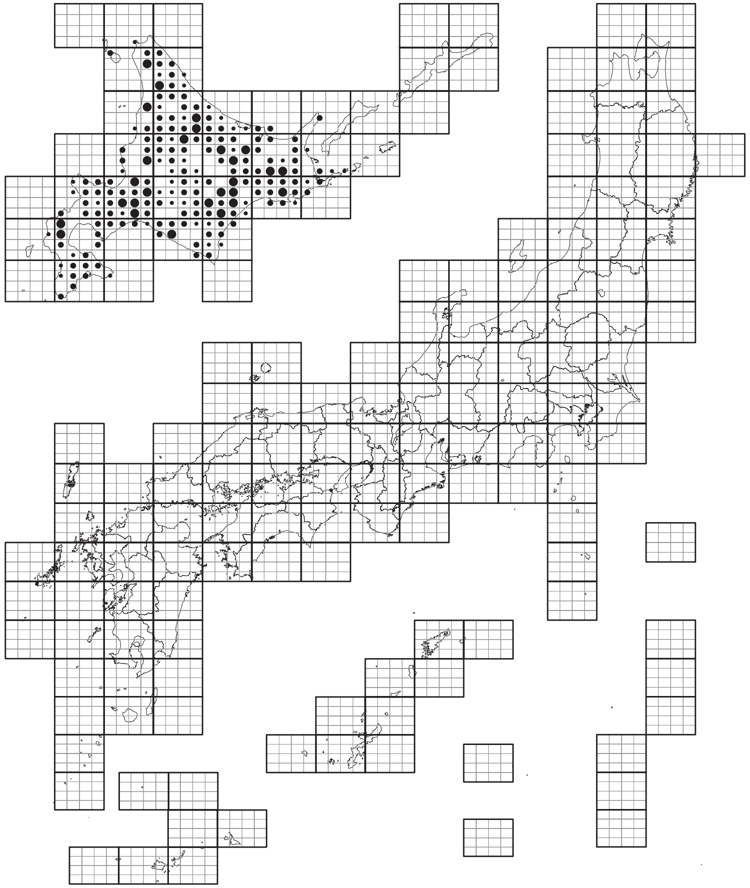
(分類) スズメ目シジュウカラ科　*Parus　palustris*

(環境省RDB種)　－

(分布) 北海道で留鳥。東アジアとヨーロッパに分かれて分布。

(生態) 落葉広葉樹林にすみ、4月中旬頃から樹洞に営巣する。5～8卵を雌が13日前後抱卵する。なわばり定着性が強く、通年のなわばりをもつ。

1974年－1978年　**メッシュ数　A＝18　B＝91　C＝17**



1997年－2002年　**メッシュ数　A＝27　B＝119　C＝46**